

NSK

2020年3月期 第2四半期 決算説明会



2019年11月5日
日本精工株式会社

本資料には、業績見通し及び事業計画等を記載しています。
それらにつきましては、各資料の作成時点における経済環境や事業方針などの
一定の前提に基づいて作成しています。従って、実際の業績は、様々な要因により
業績見通しとは異なる結果となりうることをご承知おき下さい。

Copyright NSK Ltd. All Rights Reserved.

- 1. 2020年3月期前半（4～9月）実績**
- 2. 2020年3月期通期予想**
- 3. 事業セグメント別
事業環境と取り組み状況
(補足資料)**

1. 2020年3月期前半（4～9月）実績

事業環境

- ✓ 米中摩擦の長期化により世界経済の不透明感と低迷継続
- ✓ 産業機械（インフラ関連除く）、自動車とも需要減少が続く
- ✓ 為替レート：円高進行 特に中国元・ユーロ

決算サマリー

✓ 前半(4-9月)		対前年同期
・売上高	4,348億円	-748億円 / -14.7%
・セグメント利益*	167億円	-297億円 / -63.9%
・営業利益	158億円	-292億円 / -64.9%
(営業利益率)	(3.6%)	(-5.2ポイント)
・当期利益〔親会社所有者帰属〕	118億円	-191億円 / -61.8%

* セグメント利益 = 営業利益 + その他の営業費用

- ✓ 対前年同期 減収減益 売上・利益とも物量減の影響大
- ✓ 中間配当金 20円/株 前年中間期と同額 期初計画通り実施

2020年3月期前半（4～9月）業績サマリー

(億円)	19/3期	20/3期			
	前半 <実績>	前半 <実績>	対前年同期 増減額	対前年同期 伸び率	前半 <予想>
売上高	5,096	4,348	-748	-14.7%	4,640
営業利益	450	158	-292	-64.9%	250
<営業利益率>	<8.8%>	<3.6%>			<5.4%>
税引前利益	451	156	-296	-65.5%	250
当期利益（親会社所有者帰属）	309	118	-191	-61.8%	190
換算レート1USD	110.27	108.63	-1.64	-1.5%	110
" 1EUR	129.84	121.41	-8.43	-6.5%	125
" 1CNY	16.75	15.68	-1.07	-6.4%	16.5

ご参考：セグメント利益 = 営業利益 + その他の営業費用

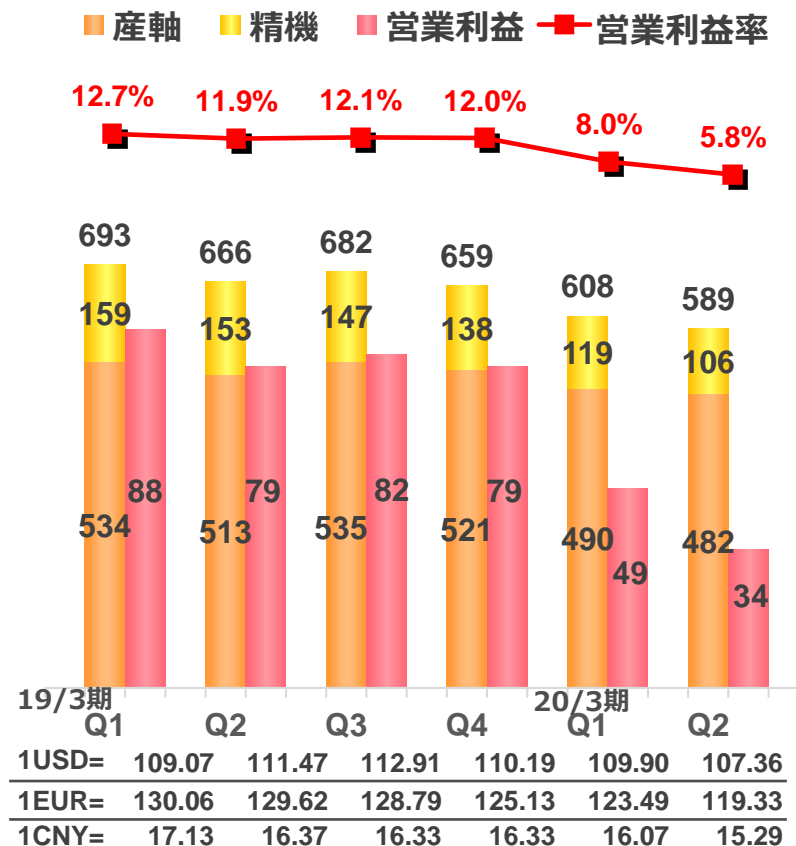
セグメント利益	464	167	-297	-63.9%	265
<対売上高 率>	<9.1%>	<3.8%>			<5.7%>

【主要指標】

ROE	11.4%	4.5%
ネットD/Eレシオ	0.23倍	0.28倍
棚卸資産回転数	6.8回転	5.5回転

売上高・営業利益 [産業機械事業]

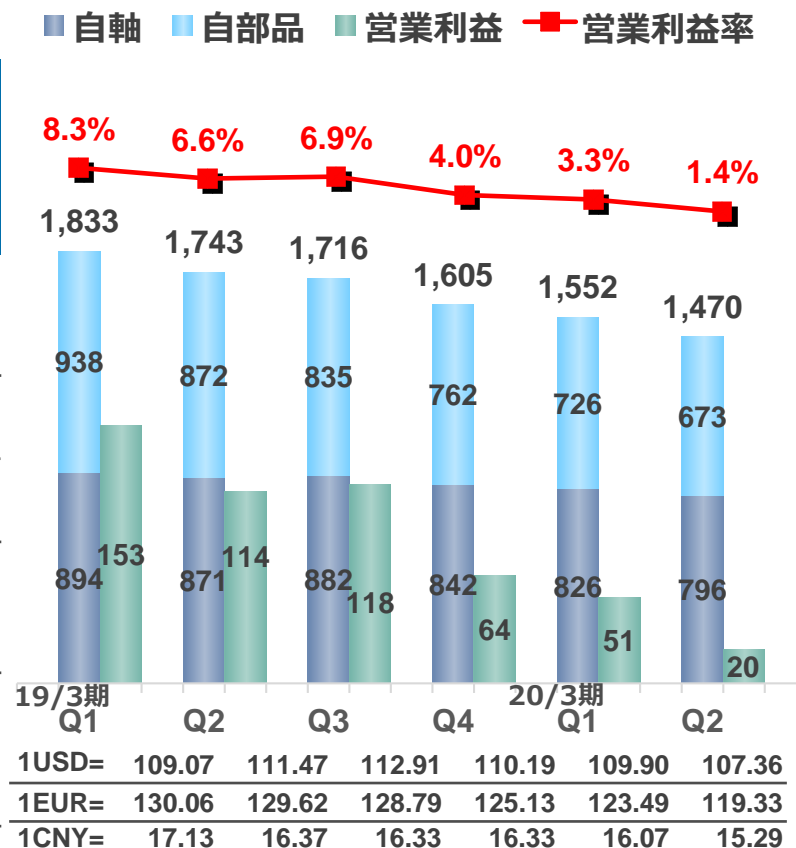
(億円)	19/3期 前半 <実績>	20/3期 前半 <実績>	対前年 同期 増減額	対前年 同期 伸び率	20/3期 前半 <予想>
売上高	1,359	1,197	-162	-11.9%	1,290
産業機械軸受	1,047	972	-75	-7.2%	1,030
精機製品	312	225	-87	-27.9%	260
営業利益 <利益率>	167 <12.3%>	83 <6.9%>	-84	-50.3%	120 <9.3%>
換算レート 1USD=	110.27	108.63	-1.64	-1.5%	110
〃 1EUR=	129.84	121.41	-8.43	-6.5%	125
〃 1CNY=	16.75	15.68	-1.07	-6.4%	16.5



- ✓ 産軸: 生産財(工作機械・ロボット)、消費財(家電)の低迷により減収
インフラ関連(風力・鉄道) 好調
- ✓ 精機: 半導体・工作機械の不振と客先在庫調整の影響大
- ✓ 物量減とミックス悪化により利益減少

売上高・営業利益 [自動車事業]

	19/3期 前半 <実績>	20/3期 前半 <実績>	対前年 同期 増減額	対前年 同期 伸び率	20/3期 前半 <予想>
売上高	3,576	3,022	-554	-15.5%	3,210
自動車軸受	1,765	1,622	-143	-8.1%	1,720
自動車部品	1,811	1,399	-411	-22.7%	1,490
営業利益 <利益率>	267 <7.5%>	71 <2.3%>	-196	-73.6%	130 <4.0%>
換算レート 1USD=	110.27	108.63	-1.64	-1.5%	110
" 1EUR=	129.84	121.41	-8.43	-6.5%	125
" 1CNY=	16.75	15.68	-1.07	-6.4%	16.5



- ✓ 自動車生産台数が減少 前年同期比 中国 -12% インド -20%
- ✓ 自動車部品: 中国向けAT減産 ステアリングEOP
- ✓ 労務費を圧縮するも物量減の影響が大きく 利益ダウン

営業利益 増減内訳 (19/3期前半 ⇒ 20/3期前半)

(億円)



2. 2020年3月期通期予想

事業環境見通し

- ✓ 景気回復に遅れ
- ✓ 産業機械： 工作機械、電機、半導体の需要調整 長引く
- ✓ 自動車： グローバル生産台数 9千万台割れ 特に中国・インド 減少

通期業績予想

✓ 期初予想を修正

		対期初予想	
・売上高	8,600億円	-850億円	-9.0%
・営業利益	320億円	-310億円	-49.2%
(営業利益率)	(3.7%)		
・当期利益	210億円	-240億円	-53.3%
(親会社所有者帰属)			

- ✓ 後半 為替前提を変更： USドル 110→108円 ユーロ 125→120円
中国元 16.5→15.3円

- ✓ 配当金： 期初予想 据え置き 年間40円/株 (前後半とも20円/株)

2020年3月期 通期業績 修正予想

(億円)	19/3期			20/3期			通期 <5月予想>
	通期 <実績>	前半 <実績>	後半 <修正予想>	通期 <修正予想>	通期 対前期 増減額	通期 対前期 伸び率	
売上高	9,914	4,348	4,252	8,600	-1,314	-13.3%	9,450
営業利益 <営業利益率>	793 <8.0%>	158 <3.6%>	162 <3.8%>	320 <3.7%>	-473	-59.6%	630 <6.7%>
税引前利益	792	156	159	315	-477	-60.2%	625
当期利益 (親会社所有者帰属)	558	118	92	210	-348	-62.4%	450
換算レート1USD	110.91	108.63	108.00	108.32	-2.59	-2.3%	110
" 1EUR	128.40	121.41	120.00	120.71	-7.69	-6.0%	125
" 1CNY	16.54	15.68	15.30	15.49	-1.05	-6.3%	16.5
セグメント利益 <対売上高 率>	833 <8.4%>	167 <3.8%>	183 <4.3%>	350 <4.1%>	-483	-58.0%	660 <7.0%>

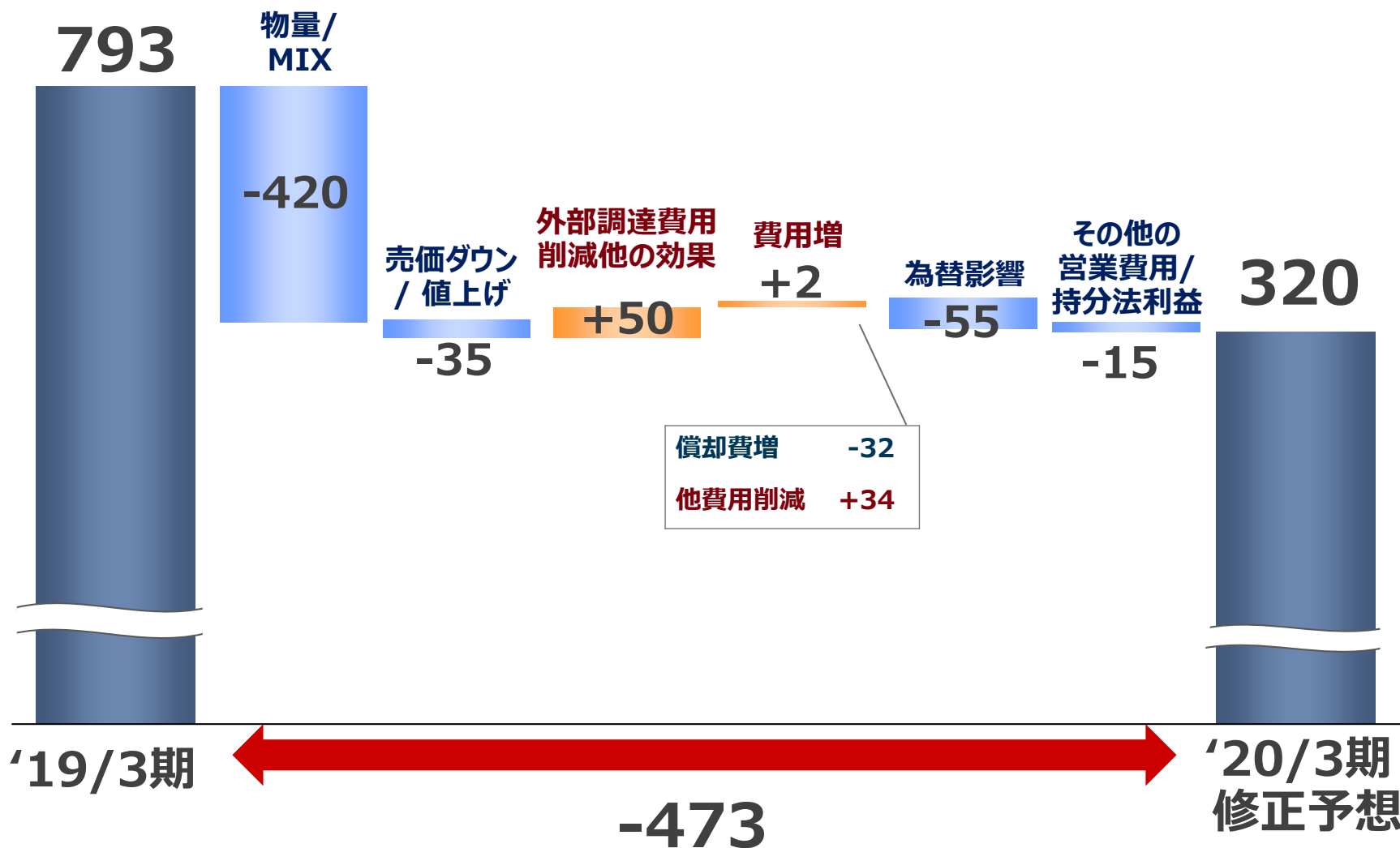
セグメント利益 = 営業利益 + その他の営業費用

通期修正予想 [セグメント別業績]

(億円)	19/3期 通期 <実績>	20/3期						
		前半 <実績>	後半 <修正予想>	通期 <修正予想>	通期 対前期 増減額	通期 対前期 伸び率	通期 <5月予想>	
合計	売上高	9,914	4,348	4,252	8,600	-1,314	-13.3%	9,450
	営業利益	793	158	162	320	-473	-59.6%	630
	営業利益%	8.0%	3.6%	3.8%	3.7%			6.7%
産業機械事業	売上高	2,700	1,197	1,193	2,390	-310	-11.5%	2,650
	産業機械軸受	2,103	972	983	1,955	-148	-7.0%	2,100
	精機製品	597	225	210	435	-162	-27.2%	550
	営業利益	329	83	87	170	-159	-48.3%	290
	営業利益%	12.2%	6.9%	7.3%	7.1%			10.9%
自動車事業	売上高	6,897	3,022	2,923	5,945	-952	-13.8%	6,500
	自動車軸受	3,489	1,622	1,628	3,250	-239	-6.9%	3,525
	自動車部品	3,408	1,399	1,296	2,695	-713	-20.9%	2,975
	営業利益	449	71	84	155	-294	-65.5%	330
	営業利益%	6.5%	2.3%	2.9%	2.6%			5.1%
その他	売上高	629	255	265	520	-109	-17.4%	590
	営業利益	56	12	13	25	-31	-55.4%	40
	営業利益%	8.9%	4.8%	4.9%	4.8%			6.8%
売上高消去	-312	-125	-130	-255	+57			-290
その他の営業費用/調整額	-42	-8	-22	-30	+12			-30

営業利益 増減内訳 (19/3期 ⇒ 20/3期 修正予想)

(億円)



2021年3月期以降を見据えた出口戦略

需要低迷への対策と物量回復時の利益最大化

● 足元の対策と体質づくり

- ✓ 固定費削減
- ✓ 生産性に拘った運営
- ✓ 仕掛品を中心に在庫削減の継続
- ✓ 設備投資 増強凍結 更新・省人化のみ
- ✓ 受注機会の最大化

3. 事業セグメント別 事業環境と取り組み状況

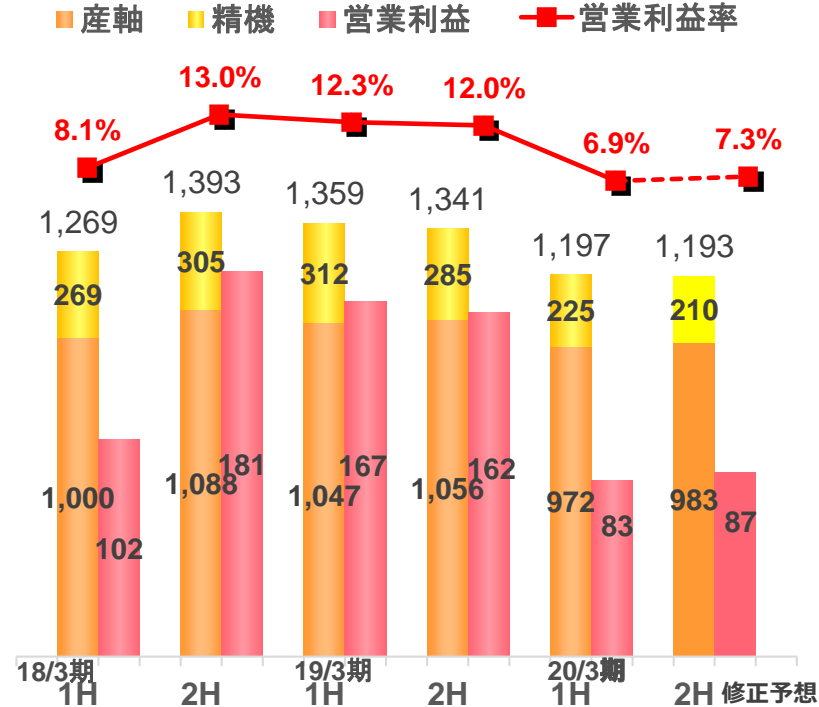
【セクター別需要動向】↑ 上向き、→ 横ばい、↓ 下向き

セクター		実績	20/3 2H見通し		予測
		20/3 1H vs. 19/3 2H	20/3 2H vs. 20/3 1H		21/3 1H vs. 20/3 2H
			2019年 5月時点	今回	
生産財	精密機器				
	工作機械	↓↓	↑↑	↓	→
	半導体設備	↓↓	↑↑	→	↑
	ロボット	↓↓	↑	↓	→
	射出成形機	↓	↑↑	↓	→
	モーター	↓	↑	→	↑
	流体	↓	↑	→	↑
	鉄鋼	→	→	→	↓
インフラ	農機	↓	→	→	→
	風力発電	→	↑	↑↑	→
	鉄道車両	↑	→	↑↑	→
消費財	建機/鉱山	↓	→	↓	→
	家電	→	→	↓	↑
AM		→	→	→	→

5月時点予想よりダウン

5月時点予想よりアップ

売上高・営業利益



需要回復遅れ
インフラは好調

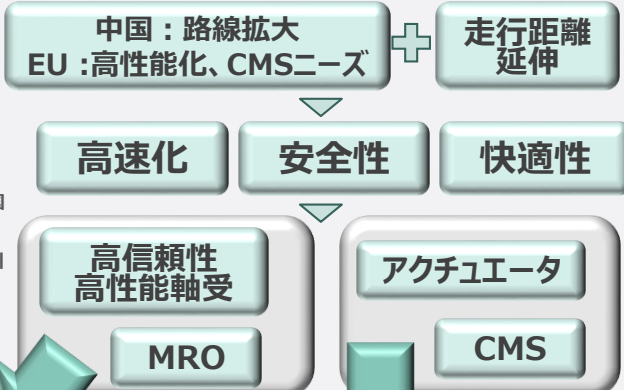
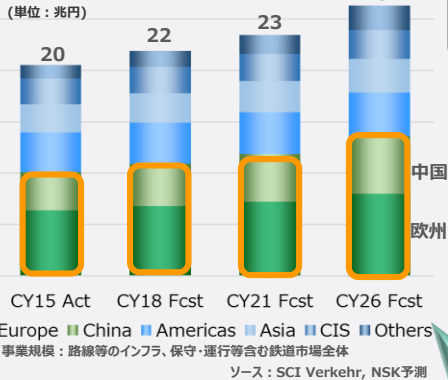
MIX悪化
固定費負担

- ・販売施策：堅調セクター & AM
需要の積極的な取り込み
- ・固定費対策：稼働体制・
人員体制適正化(工場間移動)
- ・CFへの拘り:在庫削減、設備投資抑制
- ・為替対策：現調化(海外)、国際調達(日本)

産業機械事業 -取り組み状況(事例)-

成長セクターでの需要の取り込み：鉄道

地域別鉄道事業規模推移



- ✓ **NSKの強み**
高信頼性、技術解析力、アジアでの実績
- ✓ **グローバル市場での拡大**

- **欧州**
- **OEM 新造車両案件初受注**
- **MRO**
- フランス国鉄
車軸用軸受**受注**

- **中国**
- **中車**
高速新型車両への参入
地下鉄新造車両向け拡大

- ✓ **取り組み加速**
- **アクチュエータ**：
動揺防止
- **CMS**：異常早期発見
予知保全
- 国内市場 更なる拡大
- 海外市場での実績作り

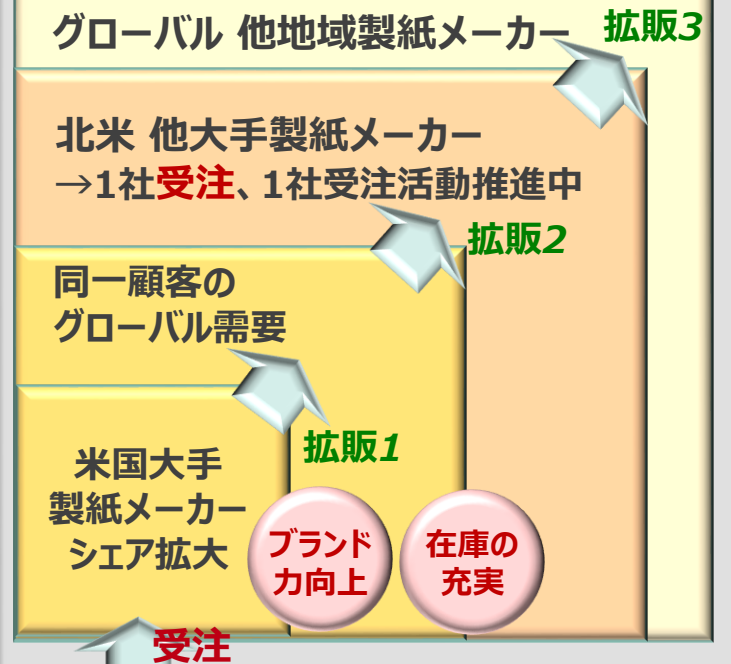


NSK動揺防止アクチュエータ
(左:アクチュエータ、右:ドライバー)

多角的なプレゼンス向上を目指す

GAM拡販戦略 (グローバルAM)

製紙

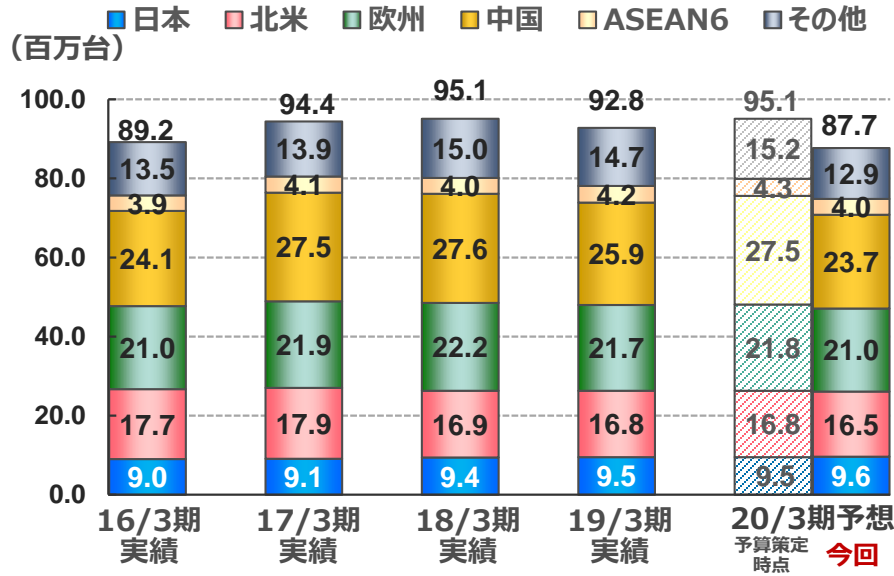


- 受注
- 「NSKの強み」
- 製品の高信頼性(厳しい使用環境(高温))
 - 技術対応、サービス対応
→ユーザーのコスト削減

他セクターへの展開 **重厚長大プロセス産業など**

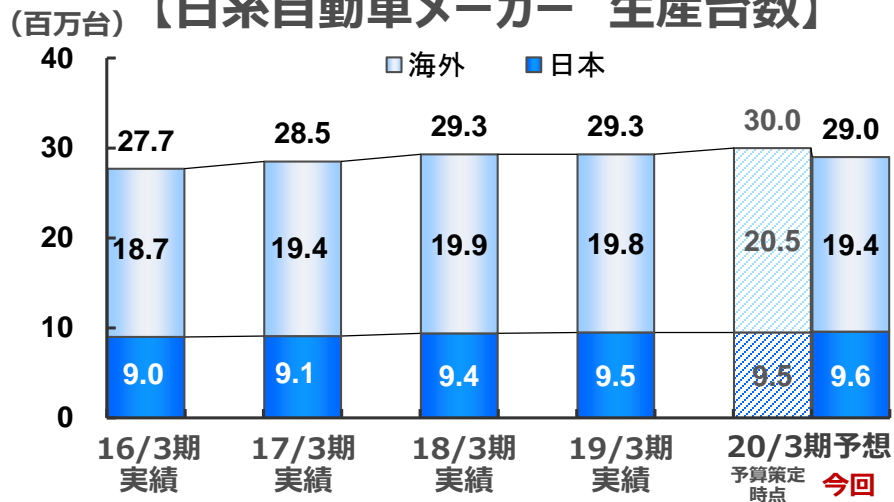
自動車事業 -事業環境-

【グローバル自動車生産台数】

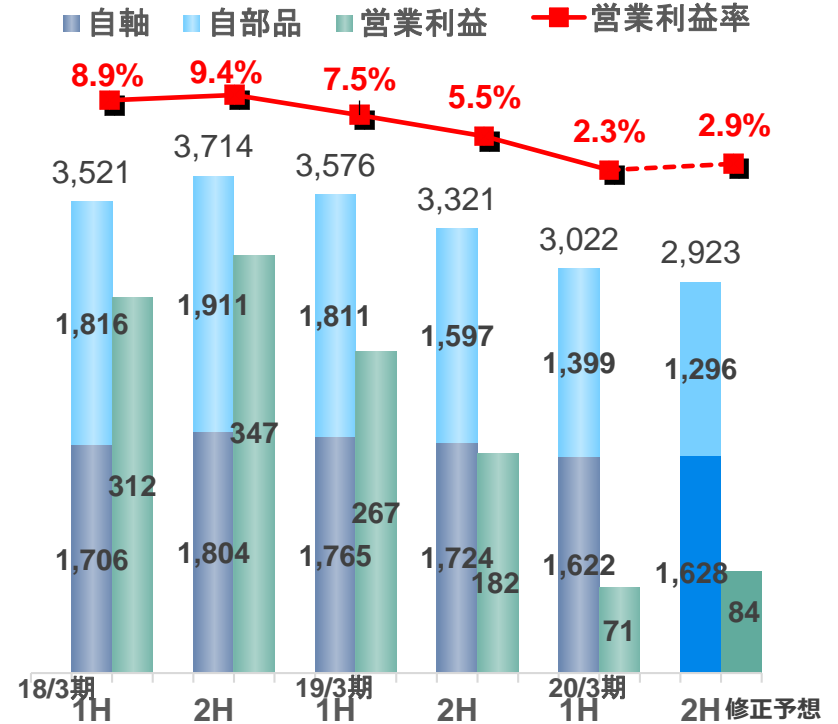


(出所：IHS Automotive、NSK予想)

【日系自動車メーカー 生産台数】



売上高・営業利益



経済環境悪化
自動車市場減速

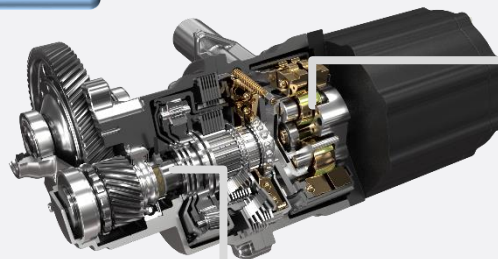
固定費負担
EPS減少

- ・人員活用 生産性向上活動
- ・サプライチェーン強化(デュアルソース化)
通商・為替リスクへの備え
- ・投資抑制
- ・EPS再成長へ向けた開発活動の継続

電動化への対応

電動車比率はさらに拡大
FY30予測 電動車比率：57%(+4ppt)

EV シームレス 2スピード eアクスル コンセプト開発



TD減速機 + 超高速モーター
小型化、軽量化、静粛性

※TD減速機：2社へ試作対応中

HEV パワートレイン多様化への対応

軸受バリエーションの拡大
→事業機会を確実に捕捉

2速トランスミッション

トルクセンサー + 電動シフトアクチュエータ + FP/SP

加速・最高速UP、航続距離の延伸、ショックレス変速

ステアリング & アクチュエータビジネスの成長

第7次中計からの
再成長シナリオの実現

EPS ➤ **VW Group Components との開発協業開始**

- 両社でプロジェクトチーム設立
- EPS新製品を共同開発

技術の底上げ

ラインナップ拡大

経営資源共有

開発スピードアップ

他OEM
へも
展開

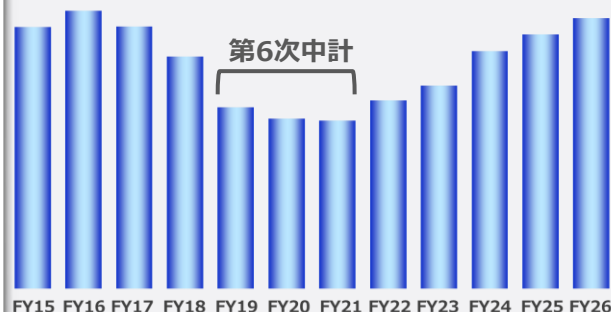
➤ **EPSの受注活動継続**

- コラムEPS：コアアセット活用による競争力向上
- ラックEPS：客先の開発スケジュール変更

BS ➤ **ブレーキブースター用ボールねじ拡販活動順調**

- 緊急自動ブレーキの国際基準の成立(2019.6) → **需要拡大**
- 検知から制動開始時間の短縮 → ボールねじ式の優位性向上

高応答性



ステアリング & アクチュエータ売上高

NSKの環境への貢献

製品を通じた環境貢献の最大化と事業活動における環境負荷の最小化

目標

- ・事業活動におけるCO2排出量削減 2050年▲60%(対17年度比)
- ・環境貢献型製品によるCO2排出量オフセット
- ・資源の有効活用 グローバル生産拠点リサイクル率99%

NSKのコアバリューに追加

経営の意思決定や行動において最優先される共通の価値基準

安全

品質

コンプライアンス

環境

社長の直轄体制に移行

代表執行役
社長・CEO

地球環境保全委員会
環境マネジメントの
最高意思決定機関

事業活動におけるCO2排出量削減

1. 生産技術革新

- ・スマートファクトリー化
- ・新熱処理技術の導入



熱処理設備

2. 省エネ・燃料転換の推進

- ・高効率機器への更新
- ・空調熱源の変更



空冷ヒートポンプチラー

3. 再生可能エネルギーの活用

- ・太陽光発電システムの設置
- ・水力、風力などの再生可能エネルギーの購入契約促進



タイ ステアリング工場

NSK製品 CO2削減貢献

製品を通じた貢献

- ・CO2削減貢献量算出
 - ガイドライン策定
 - 製品のベース性能向上
- +
- エネルギー多様化
- アプリケーションへの貢献
- ・環境貢献型製品開発の促進
 - 環境効率指標(Neco)

2018年度 温室効果ガス
(CO2等価量)

排出(スコープ1,2) 98 万t

貢献 139 万t

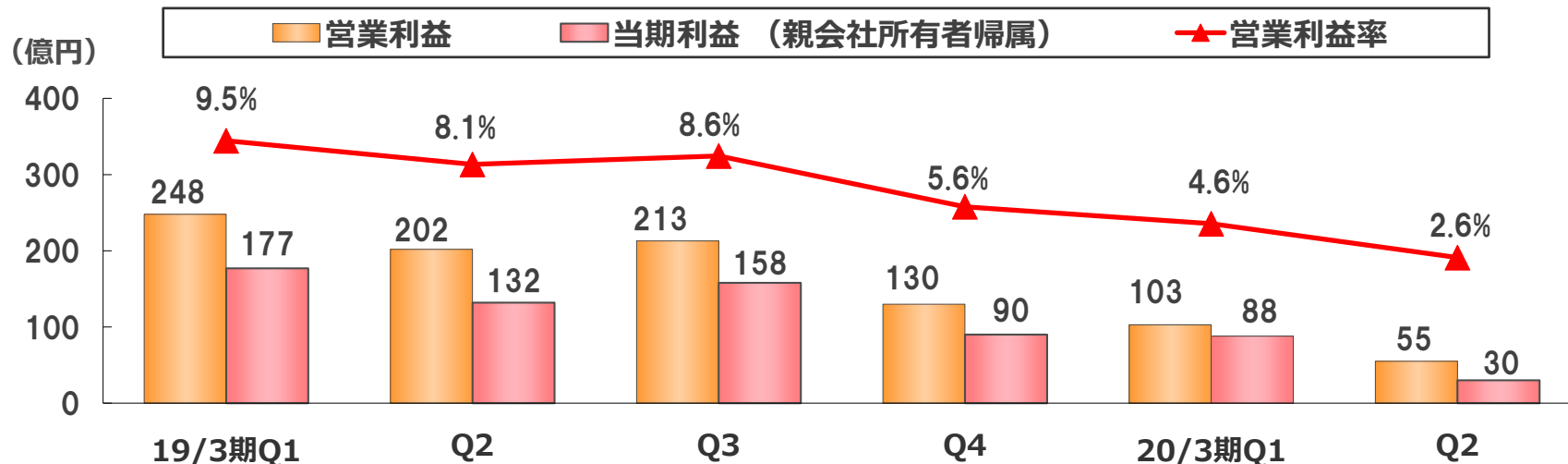
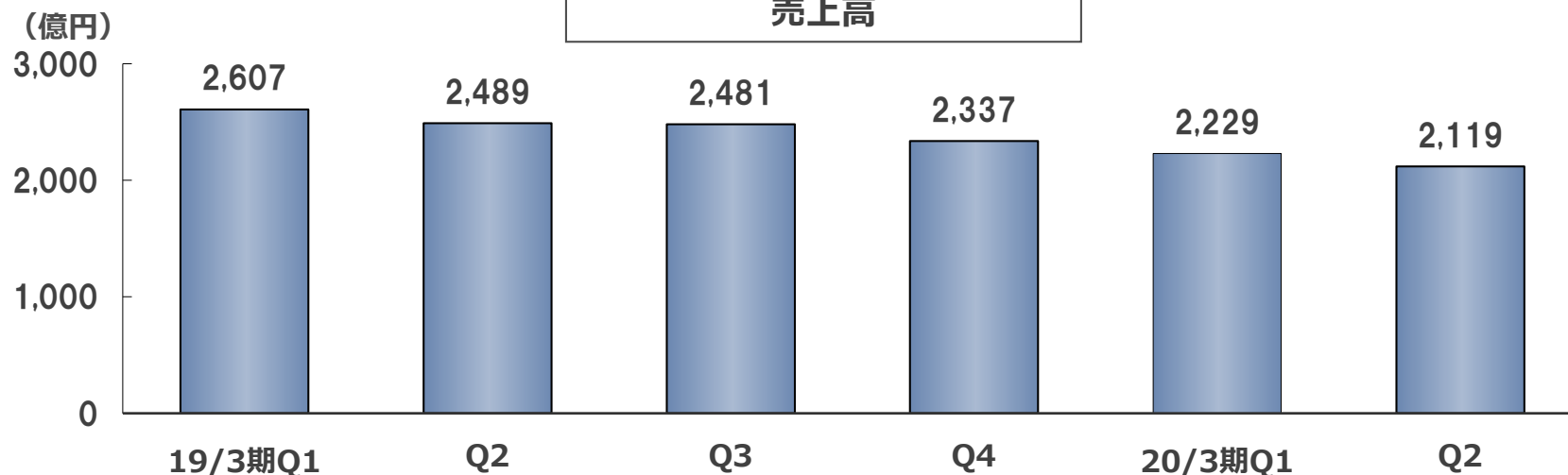
(補足資料)

(億円)		19/3期 前半 <実績>	20/3期 前半 <実績>	対前年 同期 増減額	対前年 同期 伸び率	20/3期 前半 <予想>
合計	売上高	5,096	4,348	-748	-14.7%	4,640
	営業利益	450	158	-292	-64.9%	250
	営業利益%	8.8%	3.6%			5.4%
産業機械事業	売上高	1,359	1,197	-162	-11.9%	1,290
	産業機械軸受	1,047	972	-75	-7.2%	1,030
	精機製品	312	225	-87	-27.9%	260
	営業利益	167	83	-84	-50.3%	120
	営業利益%	12.3%	6.9%			9.3%
自動車事業	売上高	3,576	3,022	-554	-15.5%	3,210
	自動車軸受	1,765	1,622	-143	-8.1%	1,720
	自動車部品	1,811	1,399	-411	-22.7%	1,490
	営業利益	267	71	-196	-73.6%	130
	営業利益%	7.5%	2.3%			4.0%
その他	売上高	303	255	-49	-16.1%	280
	営業利益	28	12	-16	-57.3%	15
	営業利益%	9.3%	4.8%			5.4%
売上高消去		-142	-125	+17		-140
その他の営業費用/調整額		-13	-8	+5		-15

(億円)	19/3期			20/3期					
	前半 <実績>	後半 <実績>	通期 <実績>	前半 <実績>	後半 <修正予想>	通期 <修正予想>	通期 対前期 増減額	通期 対前期 伸び率	通期 <5月予想>
売上高	5,096	4,818	9,914	4,348	4,252	8,600	-1,314	-13.3%	9,450
日本	1,869	1,807	3,675	1,617	1,613	3,230	-445	-12.1%	3,560
海外合計 (海外比率)	3,227 <63.3%>	3,011 <62.5%>	6,238 <62.9%>	2,731 <62.8%>	2,639 <62.1%>	5,370 <62.4%>	-868	-13.9%	5,890 <62.3%>
米州	795	781	1,576	743	707	1,450	-126	-8.0%	1,515
欧州	647	654	1,301	569	561	1,130	-171	-13.2%	1,215
中国	1,059	891	1,950	802	773	1,575	-375	-19.2%	1,765
その他アジア	726	685	1,411	616	599	1,215	-196	-13.9%	1,395
換算レート1USD	110.27	111.55	110.91	108.63	108.00	108.32	-2.59	-2.3%	110
" 1EUR	129.84	126.96	128.40	121.41	120.00	120.71	-7.69	-6.0%	125
" 1CNY	16.75	16.33	16.54	15.68	15.30	15.49	-1.05	-6.3%	16.5

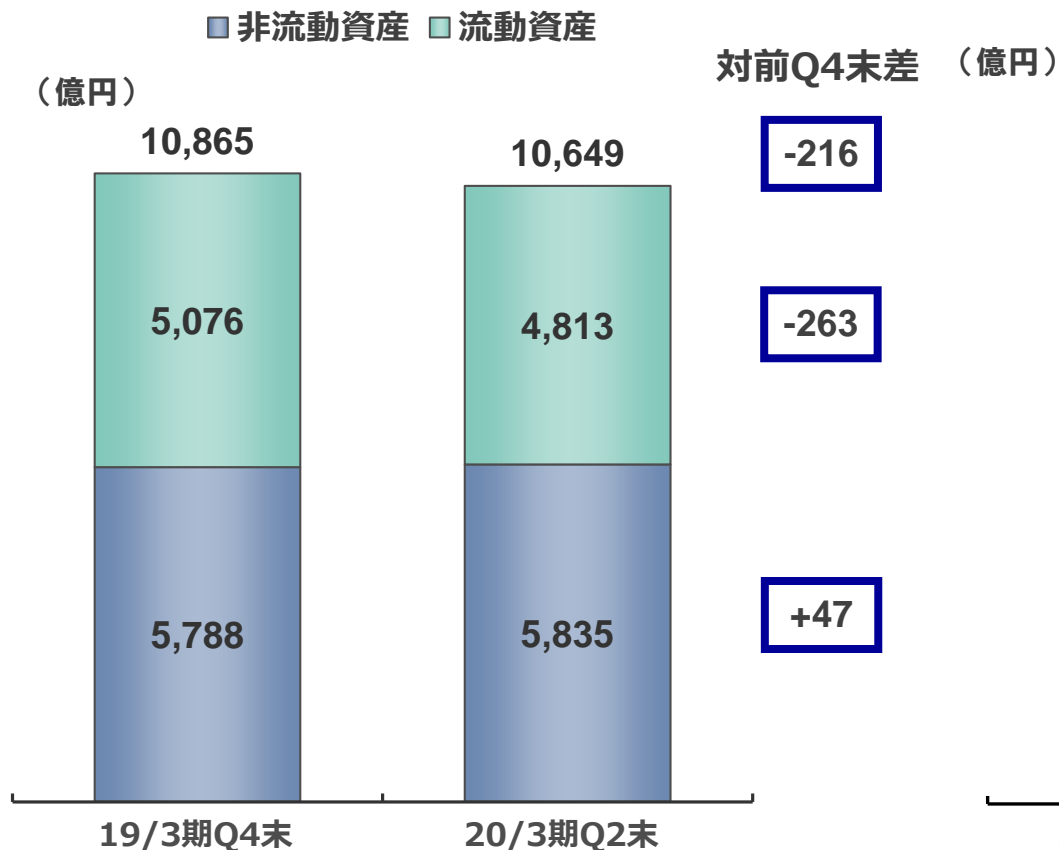
連結業績 四半期推移

売上高

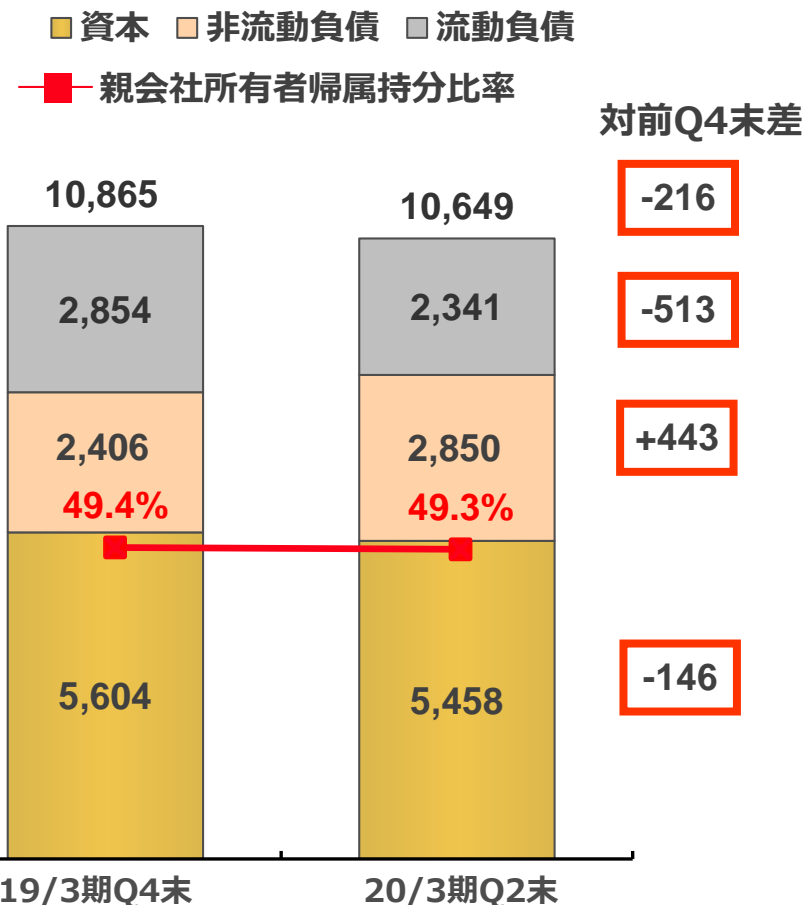


1USD=	109.07	111.47	112.91	110.19	109.90	107.36
1EUR=	130.06	129.62	128.79	125.13	123.49	119.33
1CNY=	17.13	16.37	16.33	16.33	16.07	15.29

資産



負債/資本

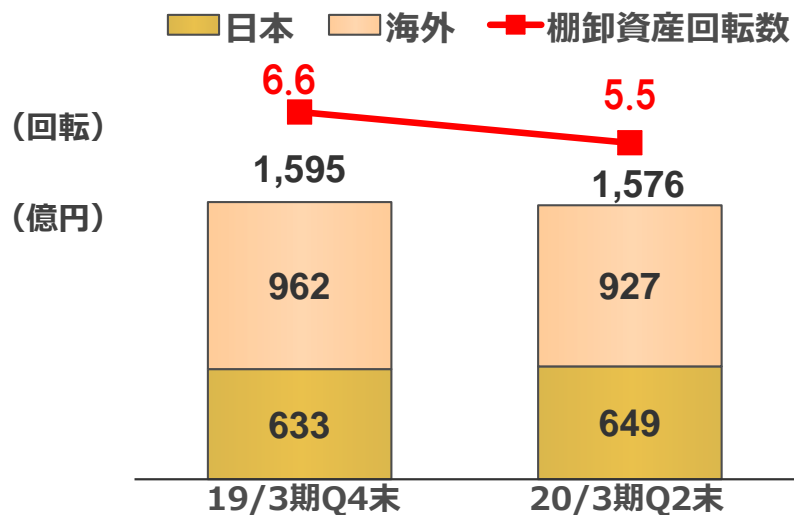


換算レート	19/3期Q4末	20/3期Q2末
1USD=	111.01	107.96
1EUR=	124.56	118.04
1CNY=	16.48	15.14

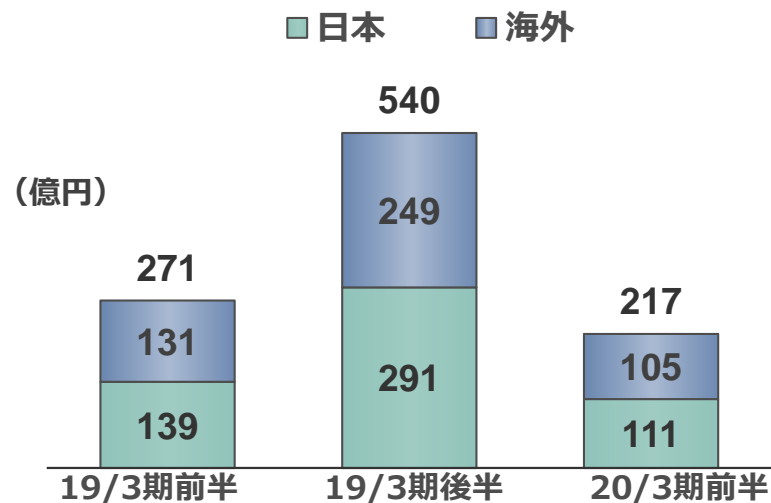
棚卸資産/有利子負債

設備投資/減価償却費

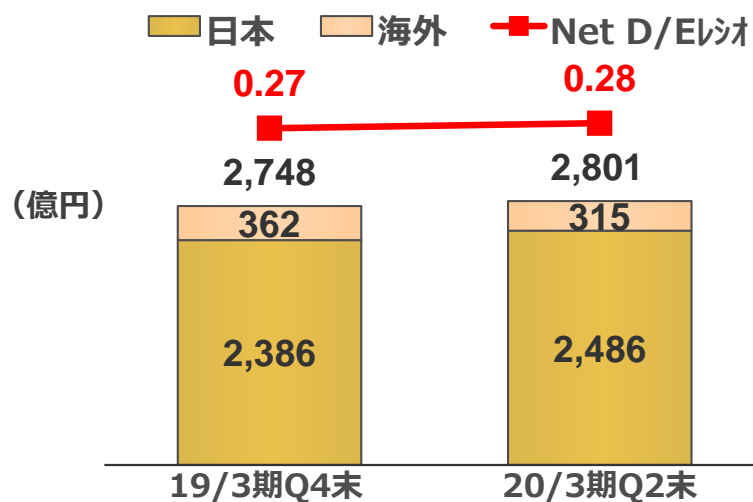
棚卸資産



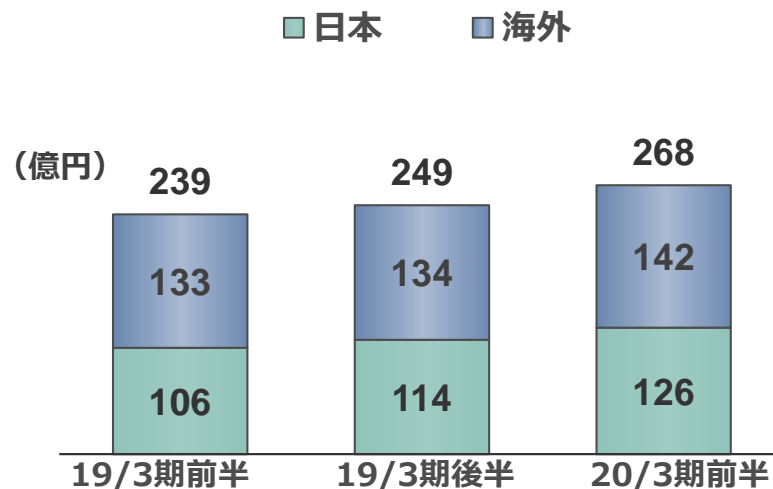
設備投資



有利子負債



減価償却費



設備投資/減価償却費/研究開発費

(億円)	19/3期 通期 <実績>	20/3期 前半 <実績>	20/3期 通期 <予想>	第6次中計 20/3~22/3期 <計画>
設備投資額	811	217	600	1,800
減価償却費	488	268	520	1,600
研究開発費 (制度決算ベース)	190	92	190	—
技術関連費用	324	159	320	対売上高 3~4%

MOTION & CONTROL™
NSK

Copyright : NSK Ltd. All rights reserved for all pages.